

評価シート 様式

取組名	水辺に人が集まるまちづくり～吉野川を挟んだ水際交流拡大プロジェクト～		
実施団体名	NPO法人 新町川を守る会	対象地域	徳島県徳島市、鳴門市、北島町、松茂町の川辺地域 (新町川、助任川、吉野川、旧吉野川、今切川、撫養川及び支流)
(代表団体名)		推薦団体名	徳島市、鳴門市、北島町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	水辺に人が集まるまちづくり～吉野川を挟んだ水際交流拡大プロジェクト～		
実施団体名	NPO法人 新町川を守る会	対象地域	徳島県徳島市、鳴門市、北島町、松茂町の川辺地域 (新町川、助任川、吉野川、旧吉野川、今切川、撫養川及び支流)
(代表団体名)		推薦団体名	徳島市、鳴門市、北島町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	河川航路の復活に起終点の朝市や文化施設を有機的に組み合わせることにより、観光振興、地場製品の振興、河川景観の改善といった複数の目的の達成を図る複合的な取組である。都市河川航路を復活させて4市町にわたる沿川地域を連結・連携させ、相乗的に活性化を図ろうとする取組には先導性がある。今後、航路沿川の農園や市民団体等との連携の一層の拡大・深度化が予定されており、より広域的な活性化へと波及することが期待される。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	歴史的河川航路の復活と併せて徳島・鳴門両市の朝市、航路沿いの文化施設や農園等を連携させることにより、沿川市町の一体的な観光活性化、地場製品の振興、河川美化と沿川修景という多面的な効果を狙った地域活性化に寄与する取組みであると評価できる。今後は以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、残された課題である自立運航体制の確立が最大の課題であると考えられるため、それらの視点に立って各取組を行い、同流域においてアダプト・プログラムなど環境保全の推進に取り組む団体等とも連携しつつ22年度以降の自立的展開を図るべきである。 具体的には、取組1.撫養航路の本格運航、新規航路の実験運航は本事業の核となる取組であり、採算性のある自立的展開に向けて、他の舟運事業の運営方法等も参考にしつつ、所要の調査を行うべきである。取組2.朝市の拡大は航路運航と併せて本事業の核となる取組であり、21年度所要の調査を行い、22年度以降の自立的展開に向けて商工関係者等との実施体制を確立させるべきである。取組3.は22年度実施予定事項であるが、取組2.の中で一体的に所要の準備を行うべきである。取組4.修景整備や景観条例に関しては、20年度の取組で課題は明らかであると考えられ、地方の元気再生事業でのさらなる検討を待たずに速やかに関係行政機関と調整を開始すべきである。